

(令和二年度 高等部入学式)

式 辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、ここ藤岡の地に吹き渡る風も春の息吹を運び始めました。新コロナウイルス感染症の広がりにより学校再開さえ危ぶまれるなか、PTA会長 女屋克子様のご臨席を賜り、本日ここに藤岡特別支援学校高等部入学式が、皆様のご理解とご協力のもと、無事、挙行できますことは、この上ない大きな喜びであります。職員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

新入生のみなさん、入学おめでとうございませう。私たちらは、皆さんの入学を心

待ちにしていきました。

高等部に入學された八名の皆さんは義務教育を修了し、主体的に学ぶ三年間になります。現在本校には皆さんを含めると小学部三十名、中学部十二名、高等部二十七名の児童生徒とそれを支える約五十名の教職員がいます。これから本校で出会い、育まれる人間関係は皆さんの人生にとって宝物になると確信しています。どうか自分から進んで多くの人たちと関わり、学ぼうという気持ちを持ってください。

高等部での大きな目標は「自立と社会参加」です。言い換えれば社会とつながり、社会の中で生きていける人になる、ということ です。本校では、教科の学習に加え、校外学習や宿泊学習、現場実習など、より社会生活に即した形での学習を準備しています。皆さんには、本校での学習を通じて、自分のよさや得意な面を更に伸ばすとともに、将来社会に出て行くために必要な知識や技能、そして、何にでも挑戦する意欲や、困難に打ち勝つ気力や体力を身に付けてほしいと思います

ます。さらに、高等部の皆さんには生徒会活動等を通じて学校のリーダーとしての活躍も大いに期待しています。自信と誇りを持って学校生活に取り組んでください。

保護者の皆様、お子様のご入学誠におめでとうございます。これまで大切なお子様を深い愛情で育ててこられ、今日の日をお迎えになるまでの御労苦に対し、敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

皆様には、PTA活動をはじめさまざま

な活動で、大変お世話になります。私たち教職員は、生徒たちのよさを見つめ、伸ばすため、力を尽くす所存です。ともに手を携えてまいりましょう。

ご臨席の皆さま、本校は、藤岡・多野地域のすべての子どもたちが、この地域で学び、安心して生きていけるようつくりられました。この高等部は、「地域で学び地域へつなぐ」をスローガンに、さまざまな活動を行ってまいります。最後になりましたが、生徒たちがこれまで以上にこの地域の皆様に見守られ地域の中で

育つていけるよう、ご支援とご協力をい
ただきますよう、心よりお願い申し上げ、
式辞といたします。

令和二年四月八日

群馬県立藤岡特別支援学校

校長 吉井 靖明